令和８年度危機管理学部　総合型選抜　合問題試験
出題意図・合否判定の方法及び基準

出題意図

【Ⅰ】

東南アジアの地理，気候，歴史，国際関係に関する基本的かつ幅広い知識を問う問題です。危機管理学部で学ぶ上で，日本と密接な関係にある東南アジア地域の現状や背景を理解することは不可欠です。地図を用いた国や地域の特定をはじめ，気候や農業の特性，マレーシアとシンガポールの民族構成，歴史的経緯，さらには東南アジア諸国連合（ASEAN）などの国際的な枠組みについての理解度を総合的に測ります。これにより，グローバルな視点から現代社会の課題を俯瞰し，国際的な安全保障や危機管理の事象について多角的に考察するための基礎的な教養と関心が備わっているかを確認することを意図しています。

【Ⅱ】

現代日本が直面する社会的課題である「少子高齢化と人口減少」についての理解度と，それを踏まえた論理的思考力を問う問題です。日本の人口ピラミッドなどの統計資料を正確に読み解く力や，高齢者の割合，合計特殊出生率，過疎化といった関連する知識を確認します。さらに，少子高齢化の進行がもたらす社会構造の変化を単なる現象として捉えるのではなく，それが災害，治安，国際関係，情報セキュリティといった危機管理上の具体的なリスクや課題にどのようにつながるのかを自ら推論する能力を評価します。指定された領域に沿って論理的に文章を構成し，説明する表現力を測ることを意図しています。

【Ⅲ】

政府の『防災基本計画』の記述を素材として，災害時における避難生活の質や人権保障，多様性への配慮に関する理解度を問う問題です。基礎的な語彙力に加え，プライバシーの権利や障害者に関する条約といった人権分野の基本知識を確認します。特に，被災者からの要望の男女差を示す図表を用いて，防災対策においてジェンダーの視点や多様な属性への配慮が不足しがちであるという課題を正確に読み取り，言語化する分析力を評価します。また，感染症に対応する国際連合の機関に関する知識も問い，危機管理において人命と尊厳を守るための多面的な視点と思考力を持っているかを測ることを意図しています。

合否判定の方法及び基準

募集要項記載のアドミッションポリシー及び学部で定める基準にしたがって，総合的に選考しています。